

# 目次

1章-1	さまざまな関数	1
	①データ入力	1
	②TODAY関数	2
	③PHONETIC関数	3
	④ふりがなの表示	8
	⑤ふりがなの編集	9
	⑥ふりがなの非表示	11
	⑦DATEDIF関数	13
	⑧COUNTIF関数	17
	⑨IF関数	20
1章-2	関数のネスト	25
	①データ入力	25
	②ROUNDDOWN関数	26
	③関数のネスト	27
1章-3	複合参照	31
	①データ入力	31
	②複合参照	32
1章-4	VLOOKUP関数	38
	①データ入力	38
	②VLOOKUP関数	39
	③エラーが表示されないようにする	44
	④列番号の変更	53
2章-1	名前の定義	55
	①データ入力	55
	②名前の定義	56
	③定義した名前の確認	57
	④数式での名前の利用	59
2章-2	さまざまな入力規則	63
	①入力時メッセージ	64
	②日本語入力	65
	③エラーメッセージ	67
2章-3	さまざまな表示形式	71
	①データ入力	71
	②「曜日」を表示させる表示形式	72
	③「0」を表示させる表示形式	75
	④数値と文字列	77
	⑤桁区切り+末尾に「円」を表示させる表示形式	79
	⑥条件式を設定した表示形式	82
2章-4	条件付き書式	85
	①データ入力	85
	②セルの強調表示ルール	86
	③指定の値を含むセルだけを書式設定	89
	④数式を利用した条件付き書式	92
	⑤ルールの管理	95
	⑥ルールの削除	96
3章	複合グラフ	98
	①グラフの作成	98
	②複合グラフ	99

	③縦軸の最小値の変更	102
	④横軸の位置の変更	104
	⑤軸ラベルの追加	105
4章	グループと3D集計	109
	①グループの設定	109
	②グループの解除	112
	③3D集計	115
5章-1	検索と置換	119
	①ファイルをドキュメントから開く	119
	②一つずつ検索	120
	③すべて検索	121
	④置換	123
5章-2	データの集計	125
	①昇順	125
	②小計	127
	③集計行の追加	129
	④アウトライン	131
	⑤集計の解除	134
5章-3	フィルターオプション	136
	①検索条件の入力	136
	②フィルターオプションの設定	138
	③抽出の解除	141
	④さらに複雑な条件での抽出	142
6章	ピボットテーブル	146
	①ファイルをドキュメントから開く	147
	②ピボットテーブルの作成	148
	③ピボットテーブルの操作	150
	④フィールドの表示の変更	152
	⑤フィールドの表示を元に戻す	153
	⑥フィールドの追加	155
	⑦フィールドの移動	156
	⑧フィールドのグループ化	157
	⑨フィールドの削除	159
	⑩フィールドの展開/折りたたみ	160
	⑪フィールドの集計方法の変更	162
	⑫フィールドの表示形式の変更	164
	⑬レポートフィルターの設定	166
	⑭レポートフィルターの表示を元に戻す	168
	⑮ピボットグラフ	170
	⑯<ピボットグラフ>フィールドの表示の変更	172
	⑰<ピボットグラフ>表示を元に戻す	173
	⑱<ピボットグラフ>フィールドの移動	174
さくいん		176

※本書は「Microsoft Excel 2019」を使用して作成しています。

# 1章-4

# VLOOKUP関数



ビルドアップ  
**VLOOKUP**関数の登場です。  
 とっても便利な**関数**ですよ～。

<別表>

	A	B	C	D
1				
2		氏名	番号	ドリンク
3	1	伊東 美佳	1	
4	2	桐山 優斗		
5	3	瀬戸 瑠美		

検索値を入力すると...

G	範囲
ドリンク	
1	コーヒー
2	紅茶
3	緑茶
4	コーラ
5	野菜ジュース

	A	B	C	D
1				
2		氏名	番号	ドリンク
3	1	伊東 美佳	1	コーヒー
4	2	桐山 優斗		
5	3	瀬戸 瑠美		

設定した「範囲」から検索して自動的に入力してくれる！

「空白のブック」を開きましょう。



## 1 データ入力

1

以下のデータを作成します。「メニュー表」と USB メモリに名前を付けて保存しましょう。

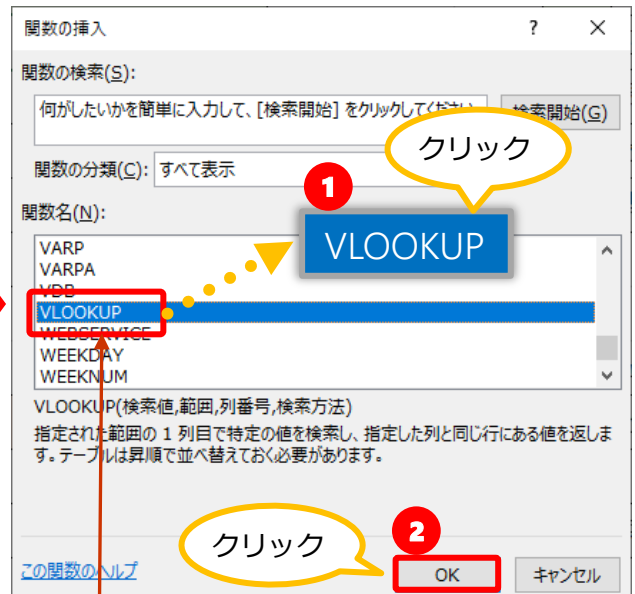
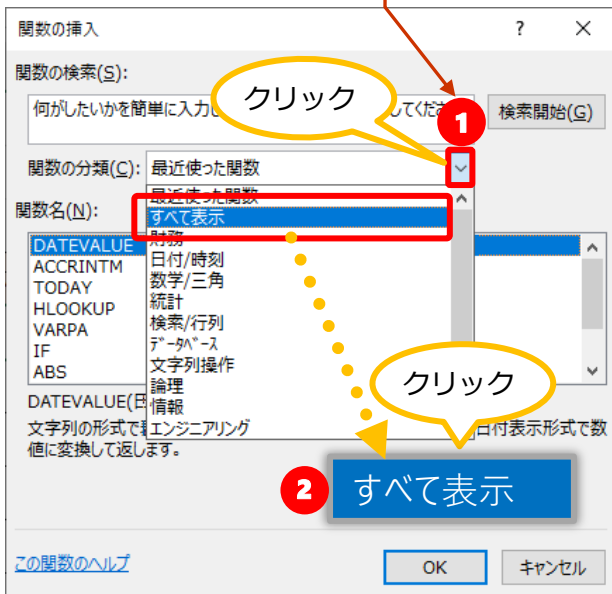
	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	参加者は、右のメニューから番号を選んで下さい。						ドリンクメニュー		
2		氏名	番号	ドリンク			1	コーヒー	
3	1	伊東 美佳	1				2	紅茶	
4	2	桐山 優斗					3	緑茶	
5	3	瀬戸 瑠美					4	コーラ	
6	4	戸田 孝雄					5	野菜ジュース	
7	5	成瀬 彩							
8									

ビルックアップ  
② VLOOKUP関数

**1**  
D3を選択します。数式バーの **fx** (関数の挿入) をクリックします。

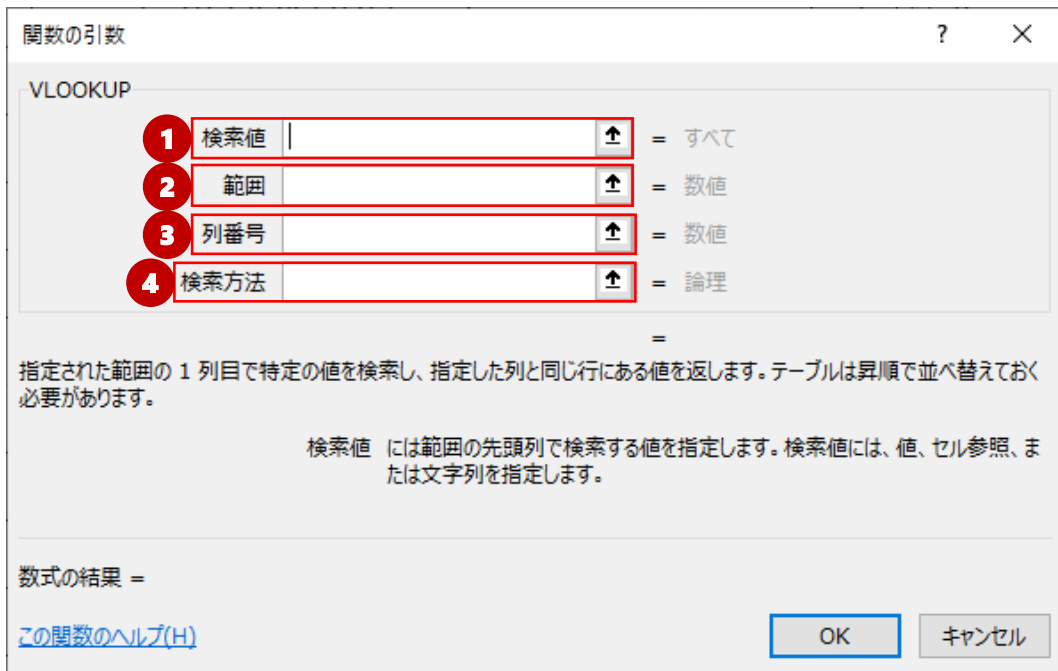
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	
1		参加者は、右のメニューから番号を選んで下さい。					ドリンクメニュー			
2		氏名	番号	ドリンク			1	コーヒー		
3	1	伊東 美佳	1				2	紅茶		
4	2	岡山 優斗					3	緑茶		
5	3	瀬					4	コーラ		
6	4	戸					5	野菜ジュース		
7	5	成瀬 彩								

**2**  
「関数の分類」の **V** をクリックし「すべて表示」をクリックします。(既に「すべて表示」の場合はそのまま続けます。)



**3**  
表示された関数名から「**VLOOKUP**」をクリックし「OK」をクリックします。

ひきすう  
VLOOKUP関数の引数



**1 検索値** 「範囲」の一番左の値を検索するための値です。

**2 範囲** 検索のための表です。一番左に検索値の列を設ける必要があります。関数をオートフィルする際は絶対参照にします。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	参加者は、右のメニューから番号を選んでください。						ドリンクメニュー		
2		氏名	番号	ドリンク			1	コーヒー	
3	1	伊東 美佳	1				2	紅茶	
4	2	桐山 優斗					3	緑茶	
5	3	瀬戸 瑠美					4	コーラ	
6	4	戸田 孝雄					5	野菜ジュース	
7	5	成瀬 彩							

関数を設定するセル

**3 列番号** 入力したい値が「範囲」の左から「何」列目にあるかを入力します。

**4 検索方法** 「検索方法」は「0」(FALSE)か「1」(TRUE)を入力します。

0 (FALSE) = 検索値と完全一致する値を範囲の左端の列から検索する。

1 (TRUE) = 検索値に一致する値が範囲の左端の列に無かった場合検索値を超えない一番大きい値を検索する。(余り使用しません。)



早速やってみましょう！！



# 1章-4 VLOOKUP関数

4

「検索値」ボックスにカーソルがあることを確認し C3 をクリックします。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	参加者は、右のメニューから番号を選んで下さい。						ドリンクメニュー		
2		氏名	番号	ドリンク			1	コーヒー	
3	1	伊東 美佳	1	=VLOOKUP			2	紅茶	
4	2	桐山 優斗					3	緑茶	
5	3	瀬戸					4	コーラ	
6	4	戸田 孝雄							
7	5	成瀬 彩							

関数の引数

VLOOKUP

1 検索値 |

範囲 |

列番号 |

検索方法 |

確認

指定された範囲の 1 列目で特定の値を検索し、指定した列と同じ行にある値を返します。テーブルは昇順で並べ替えておく必要があります。

検索値 には範囲の先頭列で検索する値を指定します。検索値には、値、セル参照、または文字列を指定します。

数式の結果 =

[この関数のヘルプ\(H\)](#)

OK キャンセル

VLOOKUP の V は  
 パーティカル  
**Vertical** (垂直・縦) に由来しており LOOKUP は  
 「検索する」という意味です。

5

「範囲」ボックスをクリックし、G2 : H6 を選択し、F4 キーを押して、絶対参照にします。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	参加者は、右のメニューから番号を選んでください。						ドリンクメニュー		
2		氏名	番号	ドリンク			1	コーヒー	
3	1	伊東 美佳	1	=VLOOKUP			2	紅茶	
4	2	桐山 優斗					3	緑茶	
5							4	コーラ	
6							5	野菜ジュース	

関数の引数

VLOOKUP

検索値 | C3

1 範囲 |

列番号 |

検索方法 |

クリック

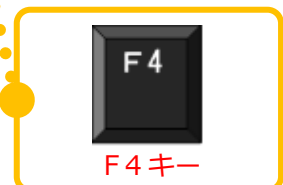
指定された範囲の 1 列目で特定の値を検索し、指定した列と同じ行にある値を返します。テーブルは昇順で並べ替えておく必要があります。

範囲 には目的のデータが含まれる文字列、数値、または論理値のテーブルを指定します。セル範囲の参照、またはセル範囲名を指定します。

数式の結果 =

[この関数のヘルプ\(H\)](#)

OK キャンセル



# 1章-4 VLOOKUP関数

**6**  
「列番号」ボックスをクリックし「2」と入力します。

関数の引数  
VLOOKUP

検索値 C3 = 0

範囲 \$G\$2:\$H\$6 = {1,"コーヒー";2,"紅茶";3,"緑茶";4,"コ"

**列番号 2** = 2

検索方法 = 論理

指定された範囲の 1 列目で特定の値を検索し、指定した列と同じ行にある値を返します。テーブルは昇順で並べ替えておく必要があります。

列番号 は範囲の列番号を指定します。ここで指定された列で一致する値が返されます。範囲の先頭列には 1 を指定します。

数式の結果 =

[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

数値の入力は全て半角英数で行って下さい。

2

1 列目	2 列目
	ドリンクメニュー
1	コーヒー
2	紅茶
3	緑茶
4	コーラ
5	野菜ジュース

「範囲」に選択した表の「2」列目の値を表示させたいので「2」です。

**7**  
「検索方法」ボックスをクリックし「0 (もしくは<sup>フォールス</sup>FALSE)」と入力します。

関数の引数  
VLOOKUP

検索値 C3 = 0

範囲 \$G\$2:\$H\$6 = {1,"コーヒー";2,"紅茶";3,"緑茶";4,"コ"

列番号 2 = 2

**検索方法 0** = FALSE

指定された範囲の 1 列目で特定の値を検索し、指定した列と同じ行にある値を返します。テーブルは昇順で並べ替えておく必要があります。

検索方法 には検索値と完全に一致する値だけを検索するか、その近似値を含めて検索するかを、論理値 (近似値を含めて検索 = TRUE または省略、完全一致の値を検索 = FALSE) で指定します。

数式の結果 =

[この関数のヘルプ\(H\)](#) **OK** キャンセル

0

0 <sup>フォールス</sup>(FALSE) = 完全一致

**8**  
「OK」をクリックします。

## 1章-4 VLOOKUP関数

9

ビルドアップ  
VLOOKUP関数を設定できました。D3にドリンクメニューから検索された「コーヒー」の値が表示されています。

D3	=VLOOKUP(C3,\$G\$2:\$H\$6,2,0)									
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	
1	参加者は、右のメニューから番号を選んでください。						ドリンクメニュー			
2		氏名	番号	ドリンク			1	コーヒー		
3	1	伊東 美佳	1	コーヒー			2	紅茶		
4	2	桐山 優斗					3	緑茶		
5	3	瀬戸 瑠美					4	コーラ		
6	4	戸田 孝雄					5	野菜ジュース		
7	5	成瀬 彩								

最終的な数式です。

10

D3の数式をD7までオートフィルしましょう。  
 (「#N/A」と表示されますが次ページで説明します。)

	A	B	C	D	E	F
1	参加者は、右のメニューから番号を選んでください。					
2		氏名	番号	ドリンク		
3	1	伊東 美佳	1	コーヒー		
4	2	桐山 優斗		#N/A		
5	3	瀬戸 瑠美		#N/A		
6	4	戸田 孝雄		#N/A		
7	5	成瀬 彩		#N/A		

オート  
フィル

番号	ドリンク
1	コーヒー
3	緑茶
4	コーラ
2	紅茶
1	コーヒー

11

C4 : C7に数字を入力しましょう。ドリンクのデータが表示されます。その後、上書き保存しましょう。

VLOOKUP関数は少し難しいですが、覚えるととても役に立つ関数ですよ～。

